

追悼

畏友、合田君と最後に合ったのは昨年五月十日、京大経済学部同窓会の東京支部総会だった。彼は東京支部の理事を長年勤めていて全支部同窓会参加の常連だった。今回は京都から湊京大総長が来て講演される特別な総会で経済学部長始め幹部の先生方ほか卒業生も一五〇人ほど集まった。行つて驚いたのは一九六〇年卒業の我々二人が最古参の参加者だと知らされた事だった。湊総長の講演の後の懇親会では合田君が乾杯の発声を務めた。

その後彼とは会う機会のないまま、秋口当りから彼が入院しているとの噂を耳にした。彼の最愛の奥様は数年前に他界されて近所に住む娘さんが時々来て彼の面倒をみてくれていると聞いてはいたが連絡の取り様が無いまま十二月十日の訃報となってしまった。

一七日の花小金井ふれあいパークでの葬儀は家族葬でとのことだったがD Fから彼と親しかった友人が廿名程度参列してお見送りした。

D Fの設立当初からその基礎固めに尽力した合田君、世話好きで誰からも親しまれた「好漢」合田君の逝去に心から哀悼の気持ちをささげた集いだった。